

森林・林業分野の国際的取組のあらまし
目次

第1章 世界の森林資源

・世界の森林資源の現況

1	世界の森林面積	1
2	森林面積の減少	2

コラム : FAOによる森林の定義 (P.1)

・地球環境問題と森林

1	地球温暖化防止と気候変動枠組条約	3
1.1	地球的規模の炭素収支と地球温暖化	3
1.2	気候変動枠組条約	4
1.3	京都議定書の採択	4
	(1) COP 1	4
	(2) COP 2	4
	(3) COP 3	4
1.4	京都会議以降の動き	7
	(1) COP 4	7
	(2) COP 5	7
	(3) LULUCF 特別報告書	7
	(4) COP 6	8
	(5) COP 6 再開会合	9
	(6) COP 7	9
	(7) COP 8	10
	(8) COP 9	10

コラム : 気候変動枠組条約の概要 (P.4)

京都議定書の概略 (P.5)

京都メカニズムについて (P.6)

LULUCFに関する意見の対立 (P.8)

IPCCのLULUCF特別報告書記載事項 (P.8)

吸収源活動に係る決定事項 (P.9)

土地利用・土地利用変化及び林業の良好手法指針の作成 (P.9)

COP 9 で決定した吸収源CDMに関する実施ルールの概要 (P.10)

2	生物多様性の保全と生物多様性条約	11
2.1	野生生物種の減少	11
2.2	生物多様性条約	11

コラム : 生物多様性条約の概要 (P.12)

森林の生物多様性に関する新たな作業計画 (P.13)

3	砂漠化の防止と砂漠化対処条約	14
3.1	砂漠化の現状	14

3.2	砂漠化対処条約の概要	14
3.3	砂漠化対処条約COP 5 の概要	15
3.4	砂漠化対処に関する森林分野の取組	16
	(1)林野庁独自の取組	16
	(2)JICAを通じた砂漠化防止、森林の保全・造成に関する技術協力及び資金協力	16
3.5	黄砂問題に関する取組	17
	(1)黄砂を取り巻く動き	17
	(2)黄砂問題検討会	17
	(3)地球環境ファシリティ (GEF) 黄砂プロジェクト	17
	(4)黄砂対策植生回復実証調査事業	18

コラム：砂漠化対処条約の概要 (P.15)

第2章 森林を巡る国際動向

・地球サミット以降の持続可能な森林経営に関する政府間対話

1	国連における政府間対話の概要	19
1.1	国連環境開発会議 (U N C E D)	20
	(1)森林原則声明	20
	(2)アジェンダ21	21
	(3)日本版アジェンダ21の作成	21
1.2	持続可能な開発委員会 (C S D) と森林に関する政府間パネル (I P F)	21
1.3	国連環境特別総会 (U N G A S S)	23
1.4	森林に関する政府間フォーラム (I F F)	24
1.5	国連森林フォーラム (U N F F)	27
1.6	持続可能な開発に関する世界首脳会議 (W S S D)	28
	(1)「実施計画」パラ45 (森林関連部分) の概要	28
	(2)アジア森林パートナーシップ / コンゴベイスン森林パートナーシップの発足	29
	(3)小泉構想の概要	29

コラム：森林原則声明の要点 (P.20)

IPFの主要な行動提案 (P.22)

IFFの主要な行動提案 (P.25)

EcoISDの概要 (P.30)

2	国連森林フォーラム (U N F F) における議論の動向	32
2.1	国連経済社会理事会での決議	32
2.2	第1回～第4回会合 / アドホック専門家グループ会合	34
	(1)第1回会合	34
	(2)第2回会合	35
	(3)第3回会合	35
	(4)アドホック専門家グループ会合	36
	(5)第4回会合	38

コラム：U N F F 設立に関する国連経済社会理事会決議 (P.32)

森林に関する協調パートナーシップ (CPF) (P.33)

	UNFF 多年度作業計画の概要 (P.34)	
	UNFF 第3回会合 主な決議内容 (P.35)	
	UNFF 第4回会合 主な決議内容 (P.37)	
3	先進国首脳会議 (サミット)	40
3.1	デンバーサミットまで	40
3.2	バーミンガムサミット	40
3.3	九州・沖縄サミット	42
3.4	カナナスキスサミット	43
3.5	エビアンサミット	44
3.6	シーアイランドサミット	44
	コラム : G8 森林行動プログラム関連パラグラフ (P.40)	
	G8 森林行動プログラムの概要 (P.41)	
	九州・沖縄サミットにおける森林関連のパラグラフ (P.42)	
	「G8 森林行動プログラム」最終報告書の概要 (P.43)	
	 . 主な国際機関の取組	
1	国連食糧農業機関 (FAO)	45
1.1	FAOの概要	45
1.2	林業委員会 (COFO)	47
	(1)概要	47
	(2)最近の林業委員会の結果概要	47
1.3	世界林業会議	49
	(1)概要	49
	(2)第12回世界林業会議の結果概要	49
	コラム : 国連食糧農業機関 (FAO) の概要 (P.45)	
	「FAO 林業戦略的計画」の概要 (P.46)	
	林業閣僚会議 (P.47)	
	第12回世界林業会議 声明文 (P.50)	
2	国際熱帯木材機関 (ITTO)	51
	コラム : ITTOの概要 (P.52)	
3	国際林業センター (CIFOR)	54
	コラム : CIFORの概要 (P.54)	
4	世界銀行	55
	コラム : 世銀森林戦略 (P.56)	
5	その他の国際機関の取組	57
5.1	地球環境ファシリティ (GEF)	57
5.2	アジア開発銀行 (ADB)	57
	 . 個別テーマに関する最近の動向	
1	違法伐採問題	58
1.1	定義	58

1.2	違法伐採の現状	58
1.3	これまでの国際的議論	58
	コラム ：日・インド 初A違法伐採対策協力「共同発表」・「アクションプラン」(P.59)	
2	アジア森林パートナーシップ (A F P)	61
2.1	第1回実施促進会合：東京、2002年11月	61
2.2	第2回実施促進会合：ジョグジャカルタ、2003年7月	62
2.3	第3回実施促進会合：木更津、2003年11月	63
	コラム ：アジア森林パートナーシップの概要 (P.61)	
	A F Pとして優先的に取り組むべき具体的行動 (P.62)	
3	W T O 林産物交渉	64
3.1	これまでの経緯	64
3.2	論点	64
3.3	今後の見通し	65
	コラム ：W T O 非農産品市場アクセス交渉の経緯と今後の予定 (P.65)	
	ジラール前議長のリモダリティ要素案の概要 (P.66)	
	カンクン閣僚会議文書案の非農産品市場アクセス部分の概要 (P.67)	
4	経済連携協定 (F T A)	68
4.1	日シンガポール経済連携協定	68
4.2	日メキシコ経済連携協定	68
4.3	A S E A N 各国及び韓国との経済連携協定交渉	68
5	吸収源 C D M の動向	69
5.1	はじめに	69
	(1) 経緯	69
	(2) 現状	70
5.2	吸収源 C D M に関するルール	71
	(1) ルール策定のスケジュール	71
	(2) C O P 9 で決定した C D M 植林に関する実施ルール	72
	(3) S B S T A 2 0 の結果について	74
6	国際的な基準・指標の取組	75
6.1	概要	75
6.2	I T T O による基準・指標	77
6.3	汎欧州プロセス (ヘルシンキ・プロセス)	77
6.4	モントリオール・プロセス	79
	コラム ：欧州森林保護閣僚会議における決議 (P.78)	
	汎欧州プロセスの基準・指標の概要 (P.78)	
	最近のモントリオール・プロセス・ワーキング・グループ 会合の議論の概要 (P.79)	
	モントリオール・プロセスの概要 (P.80)	
7	認証・ラベリングの動き	82
7.1	F S C の認証・ラベリング	82
7.2	I S O 1 4 0 0 1 の林業分野への適用	83
7.3	そのほかの森林認証制度	84

7.4	わが国における動き	85
	[コラム]：森林管理のためのF S C原則 (P.82)	
8	水と森林に関する国際的な動向	86
8.1	第3回世界水フォーラム以前	86
8.2	第3回世界水フォーラム	86
8.3	第3回世界水フォーラム以降	89
	[コラム]：第3回世界水フォーラム閣僚宣言 (P.86)	
	水と森林に関する行動のための琵琶湖宣言 (P.87)	
第3章 我が国の国際協力		
. 国際会議の開催		
1	国際森林専門家会議	90
1.1	「国別伐採実施規範の策定と実施」	90
1.2	「森林と水」	93
	[コラム]：「国別伐採実施規範の策定と実施」概要報告書 (P.90)	
	「森林と水に関する滋賀宣言」の概要 (P.93)	
2	国連森林フォーラム (UNFF) 貢献国際専門家会合の開催	95
	[コラム]：UNFF 貢献国際専門家会合報告書の概要 (P.95)	
. 国際協力の推進		
1	二国間協力	97
1.1	技術協力	97
	(1) 専門家の派遣	97
	(2) 研修員の受入れ	97
	(3) プロジェクト方式技術協力等	99
	(4) 開発調査	104
	(5) 開発協力	108
	(6) 個別専門家の派遣	110
1.2	資金協力	110
	(1) 無償資金協力	110
	(2) 有償資金協力 (円借款)	111
2	多国間協力	113
2.1	国際熱帯木材機関 (ITTO)	113
2.2	国連食糧農業機関 (FAO)	113
2.3	世界銀行	114
2.4	地球環境ファシリティ (GEF)	115
2.5	アジア開発銀行 (ADB)	115
3	研究協力	116
3.1	二国間研究協力	116
3.2	多国間研究協力	116
	[コラム]：国際森林研究機関連合 (IUFRO) の概要 (P.117)	

国際アグロフォレストリー研究センター（ICRAF）の概要（P.117）

4	二国間交流	119
4.1	日韓農林水産技術交流	119
4.2	日中農業科学技術協力	119
4.3	日中農業交流	120
5	開発途上国における森林保全等に関する基礎調査等	121
6	NGO・民間企業等による海外植林に対する主な支援措置	123
6.1	ボランティアな植林活動等	123
6.2	産業植林	124

付属参考資料

1	主要国の主な指標	126
2	主要国における森林資源及び木材生産量	127
3	世界の地域別の森林率上位国	128
4	関係機関Webサイト	129
4.1	主な国の中央森林行政組織	129
4.2	海外の主な援助機関	131
4.3	その他の森林関連機関	133
4.4	林野庁	133

図表一覧

表 1	世界の森林面積	1
表 2	世界の森林面積の年間当たりの増減 (1990 - 2000)	2
表 3	世界の熱帯林の年間減少面積 (1990 - 2000)	2
表 4	植生と土壌 (地下 1 m まで) の炭素蓄積	3
表 5	世界の乾燥地域における砂漠化の現状 (大陸別)	14
表 6	世銀及び第二世銀の 2003 年度の融資の状況 (2003 年 6 月現在)	57
表 7	主な基準・指標プロセス一覧	75
表 8	世界の主な森林認証の概要	84
表 9	林業分野専門家派遣人数累計	97
表 10	海外で活動中の長期専門家数	97
表 11	研修員の受入れの実績	98
表 12	実施中及び実施済の技術協力プロジェクト等	99
表 13	実施中の森林・林業分野 J I C A 技術協力プロジェクト等	100
表 14	実施済のプロジェクト方式技術協力等	102
表 15	実施中及び実施済の開発調査の国別実績	104
表 16	実施中の開発調査	105
表 17	実施済の開発調査	106
表 18	森林・林業分野の開発協力の実績	108
表 19	森林・林業分野の実証調査	109
表 20	派遣中の個別専門家	110
表 21	森林・林業分野の無償資金協力の実績	110
表 22	森林・林業分野の有償資金協力の実績	112
表 23	農林水産省の ITTO への任意拠出金	113
表 24	F A O フィールドプロジェクトへの任意拠出の実績	114
表 25	我が国拠出の森林・林業分野フィールドプロジェクトの実績	114
表 26	我が国の「国家森林政策強化事業」への拠出実績	115
表 27	二国間研究協力の概要	116
表 28	日韓農林水産技術交流の実績	119
表 29	日中農業科学技術交流の実績	119
表 30	日中農業交流の実績	120
表 31	2004 年度国際林業協力事業一覧	121
図 1	国際協力の体系	96

略語一覧表

ADB	(Asian Development Bank)	アジア開発銀行
AFP	(Asia Forest Partnership)	アジア森林パートナーシップ
AIJ	(Activities Implemented Jointly)	共同実施活動
APEC	(Asia-Pacific Economic Cooperation)	エイペック(アジア太平洋経済協力)
APO	(Asian Productivity Organization)	アジア生産性機構
ASEAN	(Association of Southeast Asian Nations)	アセアン(東南アジア諸国連合)
ASEM	(Asia Europe Meeting)	アジア欧州会合
CBD	(Convention on Biological Diversity)	生物多様性条約
CDM	(Clean Development Mechanism)	クリーン開発メカニズム
CGIAR	(Consultative Group on International Agricultural Research)	国際農業研究協議グループ
C&I	(Criteria and Indicators)	基準・指標
CIFOR	(Center for International Forestry Research)	国際林業研究センター
COFO	(Committee on Forestry)	林業委員会(FAO)
C/P	(Counterpart)	カウンターパート
CPF	(Collaborative Partnership on Forests)	森林に関する協調パートナーシップ
CSD	(Commission on Sustainable Development)	持続可能な開発委員会(国連)
CTE	(Committee on Trade and Environment)	貿易と環境委員会(GATT,WTO)
DAC	(Development Assistance Committee)	開発援助委員会(OECD)
EC	(European Commission)	欧州委員会
ECOSOC	(Economic and Social Council)	経済社会理事会(国連)
E/N	(Exchange of Notes)	交換公文
ESCAP	(United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific)	国連アジア太平洋経済社会委員会
EU	(European Union)	欧州連合
FAO	(Food and Agriculture Organization)	国連食糧農業機関
FORSPA	(Forestry Research Support Programme for Asia-Pacific)	アジア太平洋林業研究支援計画
FSC	(Forest Stewardship Council)	エフエスシー
FTA	(Free Trade Agreement)	自由貿易協定
GEF	(Global Environment Facility)	地球環境ファシリティ
IBRD	(International Bank for Reconstruction and Development, 又は World Bank)	国際復興開発銀行(世界銀行)
ICRAF	(International Center for Research in Agroforestry)	国際アグロフォレストリー研究センター
IDA	(International Development Association)	国際開発協会(第二世銀)
IFAD	(International Fund for Agricultural Development)	国際農業開発基金
IFF	(Intergovernmental Forum on Forests)	森林に関する政府間フォーラム
IPF	(Intergovernmental Panel on Forests)	森林に関する政府間パネル
IISD	(International Institute for Sustainable Development)	国際持続的発展研究所

ITTA (International Tropical Timber Agreement) 国際熱帯木材協定
ITTO (International Tropical Timber Organization) 国際熱帯木材機関
IUCN (International Union for Conservation of Nature and Natural Resources) 国際自然保護連合
IUFRO (International Union of Forest Research Organizations) 国際森林研究機関連合
JBIC (Japan Bank for International Cooperation) 国際協力銀行
JI (Joint Implementation) 共同実施
JICA (Japan International Cooperation Agency) 国際協力機構
JIFPRO (Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center) 国際緑化推進センター
JOFCA (Japan Overseas Forestry Consultants Association) 海外林業コンサルタント協会
JOPP (Japan Overseas Plantation Center for Pulpwood) 海外産業植林センター
NEPAD (New Partnership for Africa's Development) アフリカ開発のための新パートナーシップ
NGO (Non Governmental Organization) 非政府組織または民間援助団体
NPO (Nonprofit Organization) 非営利組織
ODA (Official Development Assistance) 政府開発援助
OECD (Organization for Economic Cooperation and Development) 経済協力開発機構
PACD (the Plan of Action to Combat Desertification) 砂漠化に対処するための行動計画
PPP (Public-Private Partnerships) 官民パートナーシップ
R/D (Record of Discussions) 協議議事録
S/W (Scope of Work) スコープオブワーク(本格調査の作業範囲、内容、便宜供与などを規定した合意文書)
TFAP (Tropical Forestry Action Programme) 熱帯林行動計画
TICAD (Tokyo International Conference on African Development) アフリカ開発会議
UNCCD (United Nations Convention to Combat Desertification) 国連砂漠化対処条約
UNCED (United Nations Conference on Environment and Development) 国連環境開発会議(地球サミット)
UNDP (United Nations Development Programme) 国連開発計画
UNFCCC (United Nations Framework Convention on Climate Change) 国連気候変動枠組条約
UNFF (United Nations Forum on Forests) 国連森林フォーラム
UNGASS (Special Session of the United Nations General Assembly to Review and Appraise the Implementation of Agenda 21) 国連環境特別総会 (Earth Summit +5)
UNEP (United Nations Environment Programme) 国連環境計画
WFP (UN/FAO World Food Programme) 国連・FAO 世界食糧計画
WSSD (World Summit on Sustainable Development) 持続可能な開発に関する世界首脳会議
WTO (World Trade Organization) 世界貿易機構

